

兵庫県居住支援協議会平成 23 年度事業報告

住宅セーフティネット構築方策の検討・連携のためのプラットフォーム的な役割を担い、住宅確保要配慮者に対する居住支援活動を行うため、兵庫県居住支援協議会（以下「協議会」という）では、以下の事業を実施した。

1 協議会設立の概要

- (1) 設立年月日 平成 23 年 11 月 2 日
- (2) 構成団体 32 団体（兵庫県、23 市町、宅建団体 4 団体、UR 都市機構、兵庫県住宅供給公社、兵庫県社会福祉協議会、ひょうご住まいサポートセンター（平成 24 年 3 月 31 日時点））

2 平成 23 年度実施事業

(1) 協議会の開催

構成団体間での情報共有及び実施事業の検討のため、総会、幹事会を開催した。また、協議会発足前に設立の準備のため、居住支援協議会設立準備会を開催した。開催日等は表のとおり。

名称	開催日	内容
居住支援協議会 設立準備会	平成 23 年 8 月 25 日	・協議会会則・会員の検討 ・協議会設立総会資料の調整
居住支援協議会 設立総会	平成 23 年 11 月 2 日	・協議会会則の承認 ・23 年度予算・事業計画の承認
居住支援協議会 幹事会	平成 23 年 12 月 2 日	・23 年度事業の実施詳細の検討
	平成 24 年 3 月 6 日	・24 年度事業計画素案の検討

- (2) 住まい情報を提供するWEBサイト「ひょうごあんしん住宅ネット」の整備・運営
住宅確保要配慮者の入居を拒まない住宅を紹介するために国が運営していた「あんしん賃貸ネット」が廃止されたことを受け、同ネットの機能を持ち住宅と福祉施設の情報を一元的に紹介する「ひょうごあんしん住宅ネット」を構築した。

- ・ 構築目的：住宅確保要配慮者の居住の安定確保のため、住宅確保要配慮者の入居を拒まない住宅の情報を一元的に提供する。
- ・ 搭載情報：「ひょうごあんしん賃貸住宅制度」に基づくあんしん賃貸住宅、サービス付き高齢者向け住宅、その他協議会会員から提供を受けた情報等（あんしん賃貸住宅以外の情報の搭載は今後拡充予定）
- ・ 整備時期：平成 24 年 5 月公開
- ・ URL：<http://support.hyogo-jkc.or.jp/anshin/>

(3) 住み替え相談会の実施

高齢者の住み替えに関する情報が不足している現状を受け、退職や身体機能の低下により住み替え意向を持つ高齢者を対象に、現住居から、ライフスタイル・ライフステージに応じた住宅への住み替えに向け、個別の意向を踏まえた住み替え選択肢の提示等を行う住み替え相談会を開催した。

- ・ 開催概要：県内３市（中核市）において、兵庫県宅地建物取引業協会及び全日本不動産協会兵庫支部より相談員として宅建事業者の派遣を受け、１日あたり８組を上限とした予約制にて実施。

実施日	開催場所	参加者状況
平成 24 年 3 月 1 日	姫路市開催 （姫路市民会館）	参加者：４組
平成 24 年 3 月 5 日	尼崎市開催 （尼崎市立労働福祉会館）	参加者：２組
平成 24 年 3 月 12 日	西宮市開催 （西宮市民会館）	参加者：８組

(4) 住み替え支援に係る研修会の開催

全国的な高齢化の進展とともに、持ち家が広すぎる高齢者がいる一方、ゆとりある住宅を求める子育て世帯等が存在するため、住み替え施策の背景や必要性、手法について公共団体等職員及び宅建事業者が学ぶための研修会を開催した。

- ・ 参加者数　：　主に自治体向け研修会　３２名
　　　　　　　主に事業者向け研修会　８７名